

環状交差点（ラウンドアバウト） 効果検証の結果【概要版】

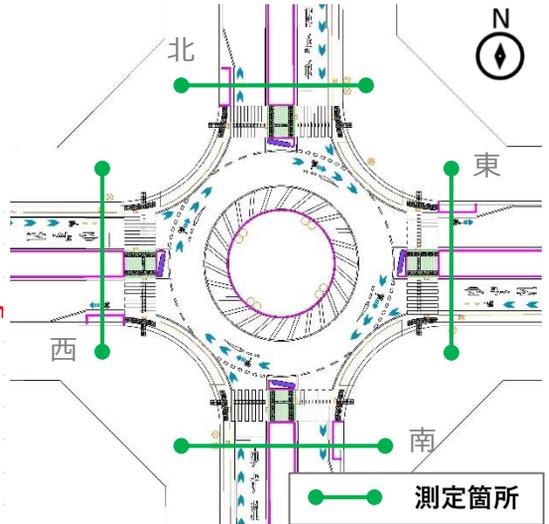
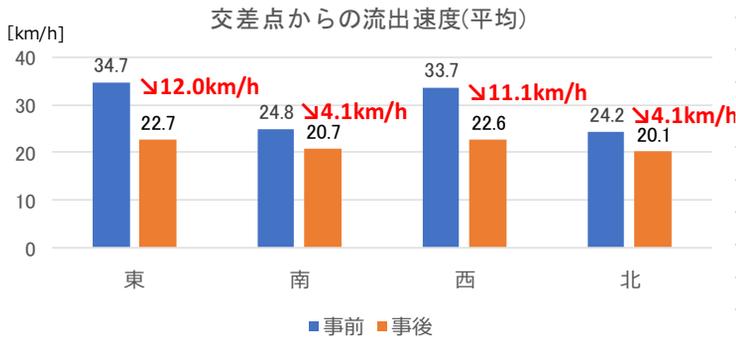
調査の状況



安全性の確認

1. 通過する自動車の速度が下がりました

最大 12 km/h 低下しました



2. 歩行者が安全に横断しやすくなりました

ゆずり率：横断歩道を利用する歩行者・自転車に自動車が道をゆずる割合

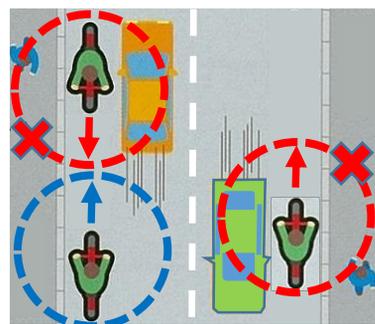
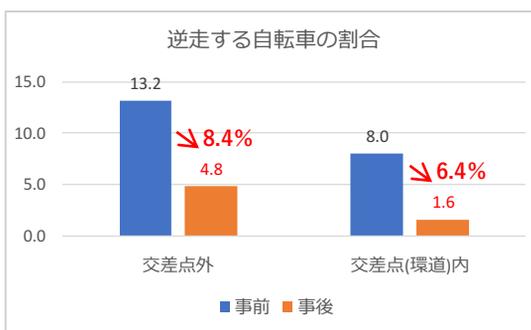
ゆずり率	交差点に流入	交差点から流出
事前	59%	36%
事後	91%	83%

ゆずり率が高くなった



歩行者の安全性が向上した

3. 車道を逆走する自転車の割合が減りました

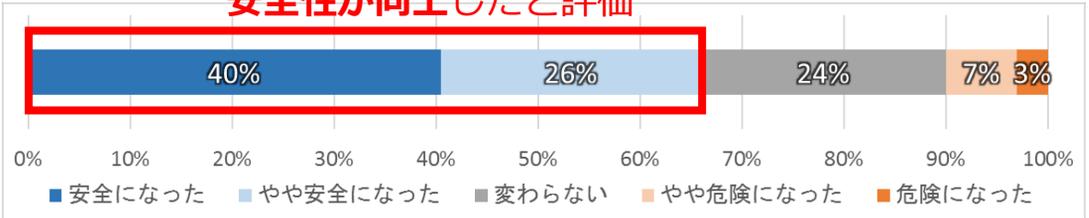


※逆走する自転車…左端以外の車道を通じた自転車

利用者の評価

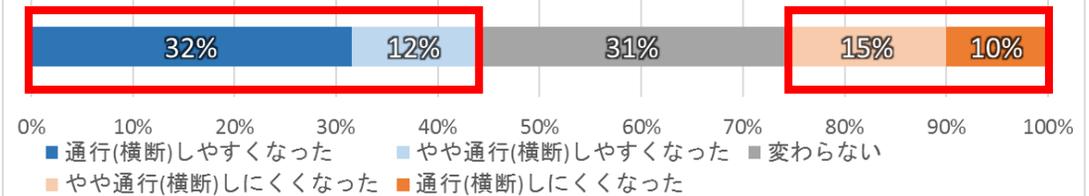
6割を超える利用者が
安全性が向上したと評価

安全性



通行のしやすさ

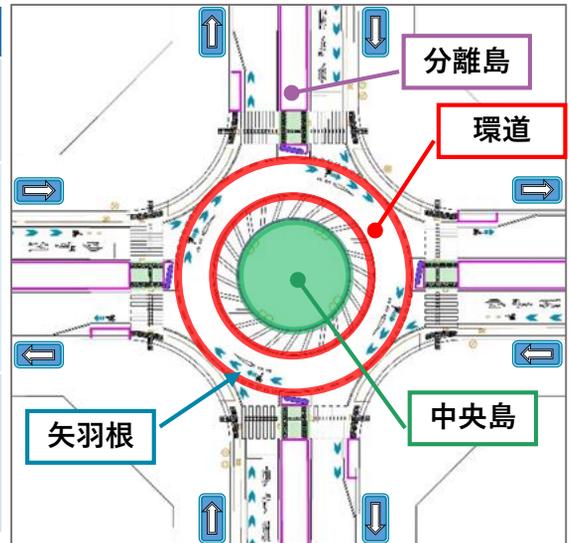
通行しやすくなった (44%) > 通行しにくくなった (25%)



見えてきた課題

1. アンケートまとめ

調査対象	通行方法	知っている	知らない
歩行者	横断中、必要に応じて分離島で停止することが可能	42%	58%
	横断するときの安全確認は1方向で良い	53%	47%
自動車	流入時は、道路の左端により、徐行して左折進入（ウインカー不要）	56%	44%
	環道内は右回りで、できるだけ左端を徐行する	90%	10%
	環道内を走行している車両が優先	64%	36%
自転車	環道から出るときは左ウインカー	55%	45%
	環道内は、車と同じ右回り	65%	35%
	環道内を走行している車両が優先	40%	60%
	矢羽根に沿って、車道左側を走行	44%	56%



アンケートの結果から「環道内は右回りでできるだけ左端を徐行する。」以外の通行方法のルールが全体的に理解されていない

引き続き、**通行方法の周知**に努めます。

2. 環道を通る自動車の約6割が中心側へはみ出して走行している



はみ出し = 速度が上がる

“はみ出しにくい構造”への改良を検討します。